

2 前提条件

2.1 ハードウェア

2.1.1 ハードウェア構成

本システムは以下のハードウェアで構成される。

(1) 発注側 EDI サーバ

本ハードウェアは発注側に設置される EDI サーバである。本サーバ上では、Web サーバ、メール送信プログラム、暗号化プログラム、データ転送、開発言語ライブラリが動作する。

(2) 発注側クライアント

本ハードウェアは発注側に設置されるクライアントである。本クライアント上では、トランスレータプログラム、Web ブラウザ、XML パーサ、開発言語ライブラリが動作する。

(3) 受注側クライアント

本ハードウェアは受注側に設置されるクライアントである。本クライアント上では、トランスレータプログラム、Web ブラウザ、XML パーサ、開発言語ライブラリが動作する。

(4) 発注側 FAX サーバ

本ハードウェアは発注側に設置される FAX サーバである。本サーバ上では、FAXOCR ソフトウェア、トランスレータプログラム、XML パーサ、開発言語ライブラリが動作する。

(5) その他ネットワーク機器

本ハードウェアは、発注側、受注側に設置されるインターネット接続、および社内 LAN の機器である。本機器には、ファイアウォール、ルータ、DSU、TA、HUB 等があるが、各社の運用によるため機器は限定されない

(6) FAX

本ハードウェアは、受注側に設置される機器である。

(7) 電話

本ハードウェアは、受注側に設置される機器である。

2.1.2 推奨ハードウェア

本システムで推奨するハードウェア仕様を表2.1-1～表2.1-4に示す。

表2.1-1 推奨ハードウェア仕様（発注側 EDI サーバ）

ハードウェア 名称	スペック		備考
	要求仕様	推奨仕様	
CPU	Pentium 2 6 6 MHz以上	Pentium 7 3 3 MHz	
メモリ	1 2 8 MB以上	5 1 2 MB	
HD	内蔵 1 0 GB以上	外付 1 6 GB (RAID 5)	RAIDは高速 ,かつ大容量で信頼性の高いディスク装置を実現するために使用。
CD-ROM	スペック指定なし	2 4 倍速	ソフトウェアのインストール、システムの構成変更で使用。
FD	スペック指定なし	3 . 5 ” X 1	
ビデオ	S 3 Virge、 Riva 1 2 8 /TNT、MGA等	Matrox MGA- 1 0 6 4 SG	
SCSI	Adaptec AHA-29XX/39xx、 Symbios53c8xx等	AHA-2940UW	DAT、RAID、MO接続用に使用。
LAN	TCP/IP 1 0 0 baseT/ 1 0 baseT	TCP/IP 100baseT/10baseT	
キーボード	PS 2 キーボード	PS 2 キーボード	
ポインティング デバイス	マウス	マウス	
DAT	なし	2 4 GB DAT	バックアップ用に使用。
MO	なし	6 4 0 MB MO	実地検証における社内システムからのデータ取込みに使用。
UPS	なし	1 0 0 0 VA	停電・瞬断時対策用に使用。
ディスプレイ	なし	1 7 inch	

表 2 . 1 - 2 推奨ハードウェア仕様（発注側クライアント）

ハードウェア 名称	スペック		備考
	要求仕様	推奨仕様	
CPU	Pentium 1 6 6 MHz 相当以上	Pentium 2 6 6 MHz	
メモリ	6 4 MB以上	6 4 MB	
HD	2 GB以上	6 . 4 GB	
CD-ROM	なし	2 4 倍速	ソフトウェアのインストール、システムの構成変更で使用。
FDD	なし	3 . 5" X 1	
ビデオ	なし	ATI-Rage PROAGP	
LAN	イーサネットTCP/IP	TCP/IP 1 0 0 baseT/ 1 0 baseT	
MO	なし	6 4 0 MB MO	バックアップ用に使用。
ディスプレイ	なし	1 7 inch	

表 2 . 1 - 3 推奨ハードウェア仕様（受注側クライアント）

ハードウェア 名称	スペック		備考
	要求仕様	推奨仕様	
CPU	Pentium 1 6 6 MHz 相当以上	Pentium 2 6 6 MHz	
メモリ	6 4 MB以上	6 4 MB	
HD	2 GB以上	6 . 4 GB	
CD-ROM	なし	2 4 倍速	ソフトウェアのインストール、システムの構成変更で使用。
FDD	なし	3 . 5" X 1	
ビデオ	なし	ATI-Rage PROAGP	
LAN	イーサネットTCP/IP	TCP/IP 1 0 0 baseT/ 1 0 baseT	
MO	なし	6 4 0 MB MO	バックアップ用に使用。
ディスプレイ	なし	1 7 inch	

表 2 . 1 - 4 推奨ハードウェア仕様（発注側 FAX サーバ）

ハードウェア 名称	スペック		備考
	要求仕様	推奨仕様	
CPU	Pentium 1 6 6 MHz	Pentium 2 6 6 MHz	
メモリ	9 6 MB	9 6 MB	
HD	内蔵 4 GB以上	内蔵 6 . 4 GB	
LAN	TCP/IP 1 0 0 baseT/ 1 0 baseT	TCP/IP 1 0 0 baseT/ 1 0 baseT	
キーボード	PS 2 キーボード	PS 2 キーボード	
ポインティング デバイス	マウス	マウス	
テレフォニ 機器	スペック指定なし	Voice Adapter	テレフォニ機能で 必要。
FAX回線機器	なし	1 4 . 4 K FAX MODEM	FAX送受信に必要
サウンド	なし	Sound Blaster PRO互換	テレフォニ機能実 現に必要。
ビデオ	なし	ATI-Rage PROAGP	
DAT	なし	6 4 0 MB	バックアップ用に 使用。
SCSI	なし	Adaptec AHA- 2 9 4 0 UW	DAT接続に使用。
CD-ROM	なし	2 4 倍速	ソフトウェアのイ ンストール、システ ムの構成変更で使 用。
FDD	なし	3 . 5 ” X 1	
UPS	なし	1 0 0 0 VA	停電・瞬断時対策用 に使用。
ディスプレイ	なし	1 7 inch	

2.2 ベースソフトウェア

本システムで使用するベースソフトウェア仕様を表2.2-1～表2.2-4に示す。

表2.2-1 ベースソフトウェア（発注側 EDI サーバ）

ソフトウェア名称	機能	用途	備考
Vine Linux 1.1CR	OS	EDIサーバのOSとして使用する	フリーソフトウェア
Apache	Webサーバ	受発注情報をインターネット上に配信するために使用する。	フリーソフトウェア
OpenSSL	暗号化	インターネット上に配信する受発注情報を暗号化するために使用する。	フリーソフトウェア
mod_ssl	暗号化	インターネット上に配信する受発注情報を暗号化するために使用する。	フリーソフトウェア
Sendmail	メール送信	発注側から受注側へメールを送信するために使用する	フリーソフトウェア
FTP	データ転送	社内システムからデータを受送信するために使用する。	フリーソフトウェア
XMLプロセッサ	XML構造チェック	XMLで作成された受発注関連データの構造をチェックするために使用する。	フリーソフトウェア
JDK1.1.7	開発言語ライブラリ	発注側EDIサーバ上でJava言語で開発されたプログラムを稼働させるために使用する。	フリーソフトウェア
JSDK2.0	開発言語ライブラリ	発注側EDIサーバ上でJavaサーブレット(www用にJava言語で記述されたプログラム)を稼働させるために使用する。	フリーソフトウェア

Apache JServ	開発言語ライブラリ	発注側EDIサーバ上でJavaサーブレット(WWW用にJava言語で記述されたプログラム)を稼働させるために使用する。	フリーソフトウェア
Mirror	バックアップライブラリ	発注側EDIサーバ上のデータをバックアップするために使用する。	フリーソフトウェア

表 2 . 2 - 2 ベースソフトウェア（受注側クライアント）

ソフトウェア名称	機能	用途	備考
Microsoft Windows 95または98 または Microsoft Windows NT4.0 WindowsNT4.0を推奨	OS	受注側クライアントのOS として使用する	市販ソフト ウェア
Microsoft Internet Explorer 5.0	Webブラウザ	EDIサーバ上のXMLにて作 成された受発注情報をイ ンターネットを通して受 信、表示する。	フリーソフト ウェア
Microsoft EXCEL97 SR1は必須	帳票作成	帳票を作成するために使 用する。	市販ソフト ウェア

表 2 . 2 - 3 ベースソフトウェア（発注側 FAX サーバ）

ソフトウェア名称	機能	用途	備考
Microsoft Windows NT4.0	OS	FAXサーバのOSとして使用する	市販ソフトウェア
Win ReaderHand 3.0	FAXOCR	規定のOCR用紙にてFAXで送付された受発注関連の帳票をテキストデータに変換する。	市販ソフトウェア
NETMan ActiveX Control for FAX	FAX送受信	FAXモデムを介したFAX帳票の送信機能、FAXOCR帳票の受信機能を実現するために使用する。 FAX回線を複数回線にした場合の回線制御も実施する。	市販ソフトウェア
Voice Adapter制御用アプリケーション	テレフォニ	テレフォニ機能を実現するために音声応答用ハードウェアを制御する。	市販ソフトウェア
Microsoft EXCEL97 SR1は必須	帳票作成ツール	FAX帳票、FAXOCR帳票を作成するために使用する。	市販ソフトウェア
Internet Information Server 4.0	Webサーバ	FAXサーバが受信したFAXOCR帳票イメージデータを発注社内担当に配信するために使用する。	市販ソフトウェア
まいと〜くFAX 2001	イメージ変換	Excel形式 BITMap形式に変換する。	市販ソフトウェア
Microsoft Internet Explorer 5.0	Webブラウザ	XMLで作成された受発注関連データの構造をチェックするために使用する。	フリーソフトウェア

表2.2-4 ベースソフトウェア (XMLトランスレータ)

ソフトウェア名称	機能	用途	備考
Microsoft Windows 95または98 または Microsoft Windows NT4.0	OS	トランスレータのOSとして使用する	市販ソフトウェア
Microsoft Internet Explorer 5.0	Webブラウザ	変換ルールを表示・印刷する。	フリーソフトウェア

2.3 制約事項

(1) 発注側 EDI サーバ機能

特に無し

(2) 受注側クライアント機能

(A) 一覧画面に表示可能な件数について

使用可能メモリ、使用可能リソースに依存

(B) 詳細画面に保有可能なデータ件数

使用可能メモリ、使用可能リソースに依存

(C) 帳票の制約について

帳票の仕様を表 2.3-1 に示す。

表 2.3-1 帳票仕様

帳票 ID	帳票名	仕様
C1	見積依頼書	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：使用可能メモリに依存
C2	見積書・諸掛り	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：使用可能メモリに依存
C3	注文一覧	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：約 1 4 5 0 ページ (1 1 6 0 0 メッセージ分) ただし使用可能メモリに依存
C4	注文書	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：使用可能メモリに依存
C5	納期回答書	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：約 1 4 5 0 ページ (1 1 6 0 0 メッセージ分) ただし使用可能メモリに依存
C6	買掛金計上通知書	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：約 1 6 0 0 ページ (1 9 2 0 0 メッセージ分) ただし使用可能メモリに依存
C7	納品書検査表・受領書	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：2 6 2 1 ページ (2 6 2 1 メッセージ分) ただし使用可能メモリに依存
C8	入荷明細	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：使用可能メモリに依存

C9	検査明細	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：使用可能メモリに依存
C10	検収明細	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：使用可能メモリに依存
C11	注文残高一覧	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：約 1 4 5 0 ページ（1 1 6 0 0 メッセージ分） ただし使用可能メモリに依存
C12	注文残高明細	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：使用可能メモリに依存
C13	納期確認書	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：約 1 4 5 0 ページ（1 1 6 0 0 メッセージ分） ただし使用可能メモリに依存
C14	円貨確定依頼一覧書	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：約 1 6 0 0 ページ（5 6 0 0 0 メッセージ分） ただし使用可能メモリに依存
C15	円貨確定書	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：使用可能メモリに依存
C16	見積依頼一覧書	1 回の印刷操作で出力可能な最大ページ数：約 1 5 6 0 ページ（1 5 6 0 0 メッセージ分） ただし使用可能メモリに依存
C17	納品ラベル	1 回の印刷操作で出力可能な最大ラベル数：約 8 1 9 0 枚 ただし使用可能メモリ、使用可能リソースに依存

(3) FAX 受発注機能

(A) 帳票の制約について

帳票の仕様を表 2 . 3 - 2 に示す。

表 2 . 3 - 2 帳票仕様

帳票 ID	帳票名	仕様
F1	見積依頼書	1 回の送信処理で送信可能な最大ページ数：使用可能メモリに依存
F4	見積書受信確認	1 回の送信処理で送信可能な最大ページ数：約 1 3 0 0 ページ (6 5 0 0 回答分) ただし使用可能メモリに依存
F5	見積未回答一覧	1 回の送信処理で送信可能な最大ページ数：約 1 6 0 0 ページ (4 8 0 0 0 メッセージ分) ただし使用可能メモリに依存
F6	注文書	1 回の送信処理で送信可能な最大ページ数：使用可能メモリに依存
F7	注文残高一覧	1 回の送信処理で送信可能な最大ページ数：約 1 6 0 0 ページ (1 9 2 0 0 メッセージ分) ただし使用可能メモリに依存
F8	納期確認書	1 回の送信処理で送信可能な最大ページ数：約 1 8 5 0 ページ (4 8 0 0 0 メッセージ分) ただし使用可能メモリに依存
F10	納期回答書受信確認	1 回の送信処理で送信可能な最大ページ数：約 1 0 0 0 ページ (4 0 0 0 回答分) ただし使用可能メモリに依存
F11	納期未回答一覧	1 回の送信処理で送信可能な最大ページ数：約 1 6 0 0 ページ (4 8 0 0 0 メッセージ分) ただし使用可能メモリに依存
F12	買掛金計上通知書	1 回の送信処理で送信可能な最大ページ数：約 1 6 0 0 ページ (1 9 2 0 0 メッセージ分) ただし使用可能メモリに依存
F13	FAX送信履歴一覧	1 回の送信処理で送信可能な最大ページ数：約 1 6 0 0 ページ (4 8 0 0 0

		メッセージ分) ただし使用可能メモリに依存
F14	FAX回答再送信依頼	1回の送信処理で送信可能な最大ページ数：使用可能メモリに依存
F15	未処理一覧	1回の送信処理で送信可能な最大ページ数：約1440ページ(50000メッセージ分) ただし使用可能メモリに依存
F16	テスト用帳票	1回の送信処理で送信可能な最大ページ数：使用可能メモリに依存

(4) XML トランスレータ

特に無し

2.4 注意事項

(1) 発注側 EDI サーバ機能

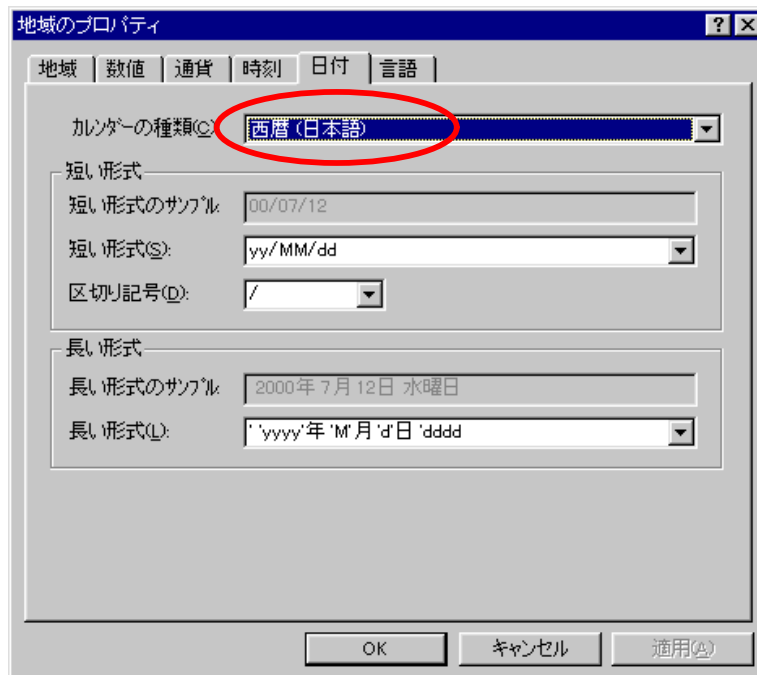
特に無し

(2) 受注側クライアント機能

(A) プログラムの使用にあたっては、他アプリケーションを終了した状態で行ってください。

印刷可能なページ数など、使用可能メモリに依存します。

(B) WindowsNT 使用時には、カレンダーの種類が「西暦」に設定されていることを確認してください。「和暦」に設定されていると、日付値が誤認識及び誤表示される場合があります。確認方法は、[スタート]メニューから[設定] [コントロールパネル]を開き、[地域]をダブルクリックしてください。[日付]タブにて設定が確認できます。



(3) FAX 受発注機能

(A) FAX 送信を実施する場合、FAX の読取り面が汚れていない事を確認してください。読取り面が汚れている場合は、誤認識の原因となります。

(B) OCR 帳票に記入する文字は、以下の例に従い、ポイントに注意して記入してください。

<記入例>



- ・線を確実につなく
- ・突き出さない
- ・輪を大きく
- ・飾りをつけない



- ・縦線を突き出す
- ・横線は突き出す
- ・横線は水平に
- ・湾は大きく



- ・垂直にまっすぐ
- ・余分な飾りはいらない
- ・長すぎず、小さすぎず
- ・はねない



- ・線を長く
- ・丸はつなく
- ・輪は大きく
- ・線は突き出さない



- ・下の横線は水平
- ・ループを作らない
- ・横線を右斜にはねない
- ・湾は深く、丸く



- ・カギをつける
- ・カギは垂直に
- ・余分な飾りをつけない
- ・脚は垂直に



- ・中央部を突き出す
- ・くぼみをはっきりつける
- ・湾は深く、丸く
- ・輪を作らない
- ・斜めに倒さない



- ・線を確実につなく
- ・ループを大きく
- ・交差をX字刑にする
- ・下の円を上より小さくしない



- ・輪を作らない
- ・角をはっきりつける
- ・間隔をあける
- ・線は十分長く
- ・角を突き出さない



- ・輪はまっすぐ
- ・縦線は長くのばす
- ・輪は縦線の左に
- ・輪をつぶさない

詳細は、メディアドライブ株式会社 WinReaderHand V3.5 文字の書き方マニュアルに従い記入してください。

(4) XML トランスレータ

特に無し